

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 香薷

新訂和漢薬 記載頁

096

基源 シソ科ナギナタコウジュ属 *Elsholtzia* sp. の花穂を帯びた全草。
日本産はナギナタコウジュ *E. ciliata* Hyl.(= *E. crista* Willd.), 朝鮮産はニシキコウジュ *E. splendens* Nakai より採る。

部位 花穂を帯びた全草: 去根剉暴乾 [本草綱目], 水洗剉細 [一本薬選].

作用 無毒. 去熱 [千金方, 証類本草, 本草綱目] (= 解熱 [満洲漢薬]), 下気, 調中, 温胃 [証類本草, 本草綱目], 散汗, 利水 [満洲漢薬].

応用 霍乱, 腹痛, 水腫 [新修本草, 千金方, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 吐下 [新修本草, 千金方, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目] (= 嘔逆 [証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬]), 煩心 [千金方], 転筋, 煩熱, 口臭, 鼻衄, 舌上出血, 小児白禿 [本草綱目], 脚気 [本草綱目, 満洲漢薬], 傷風寒 [一本薬選], 傷暑 [満洲漢薬].

処方 神聖香薷散 [霍乱], 香薷飲 [中暑].

備考 別名: 香薷 [和名抄].